

県民の政治意識
第23回モニター調査
報告書

(2006年8月17日～31日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	3
III	今回のポイント	7
IV	単純集計	11
V	調査票	14



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

県民の政治意識～第23回モニター調査は、在任5年半近くにわたり、任期いっぱいでの退陣を表明した小泉純一郎内閣最後の調査となる。

次の政権を担う自民党の後継総裁選は9月20日の投開票に向け、安倍晋三官房長官の独走状態の中で、谷垣禎一財務相と麻生太郎外相が2位の座を競うかたちになっている。強いリーダーシップを保ち続けた小泉政権の内政、外交の成果の評価はまだ定まらず、総裁選3氏がアピールする後継と“脱小泉”の模索に、大きな揺れを及ぼしている。

今回調査では、小泉政権のトータルな実績評価を問うとともに、日本の新たなリーダー像と、民主党を視野に入れた政治の再編成の方向を探る。

他方、足もとの県政は在任6年で3選を果たせなかった田中康夫知事から村井仁知事にバトンタッチされ、国政と併せて“劇場型政治”と評された転変に終止符が打たれた。この間、貴重な政治学習の体験を重ねた県民にとって、リーダー交代の新しい政治状況がどのように映り、期待感を抱かせつつあるのか、大きな節目として世論の動向を探る。

◆調査の設計

▽調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、回答は郵送、ファクス、電話聞き取り、インターネットを併用して回収。

【モニター～継続的な調査対象者】

1995年6月の参院選直前、県下の満20歳以上の1000人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち678人を対象に、選挙直後の同年7月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第1回モニター調査」と位置付け、1996年2月に男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して第2回調査を行い、それ以降は半年間隔で年2回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補正し登録数は500人を維持している。

▽調査時期 2006年8月17日発送～31日回収締め切り

▽有効回収数(率) 483人(回収率96.6%＝男性240人 女性243人)

▽回収内訳

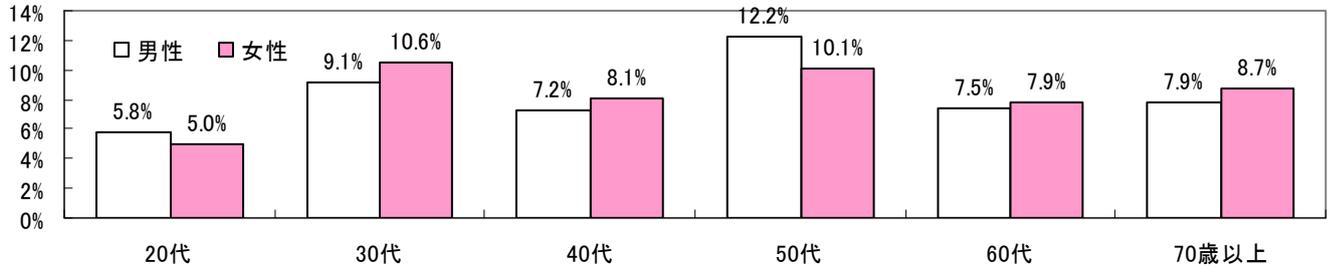
郵送	221 (45.8%)	ファクス	122 (25.3%)
電話聞き取り	99 (20.5%)	インターネット	41 (8.5%)

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

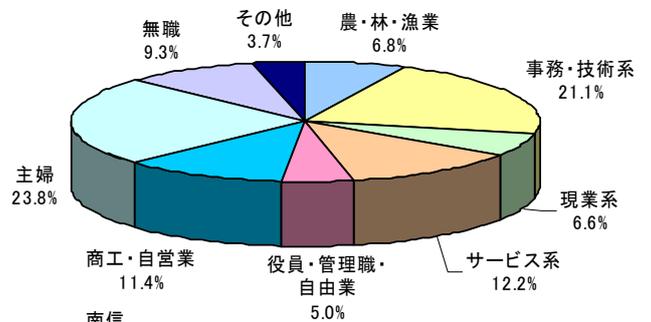
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	483	52	95	74	108	74	80
	100.0%	10.8%	19.7%	15.3%	22.4%	15.3%	16.6%
男性	240	28	44	35	59	36	38
	49.7%	5.8%	9.1%	7.2%	12.2%	7.5%	7.9%
女性	243	24	51	39	49	38	42
	50.3%	5.0%	10.6%	8.1%	10.1%	7.9%	8.7%



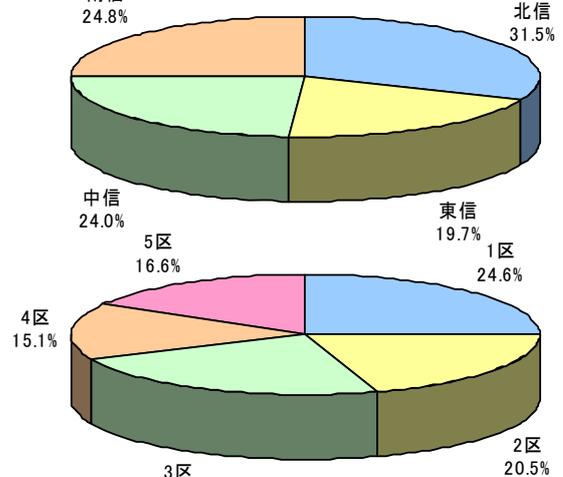
【職業】

農・林・漁業	33	6.8%
事務・技術系の勤め	102	21.1%
現業系の勤め	32	6.6%
サービス系の勤め	59	12.2%
役員・管理職・自由業	24	5.0%
商工・自営業	55	11.4%
主婦	115	23.8%
無職	45	9.3%
その他	18	3.7%



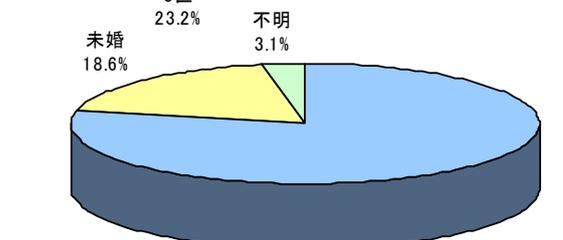
【地域】

北信	152	31.5%
東信	95	19.7%
中信	116	24.0%
南信	120	24.8%



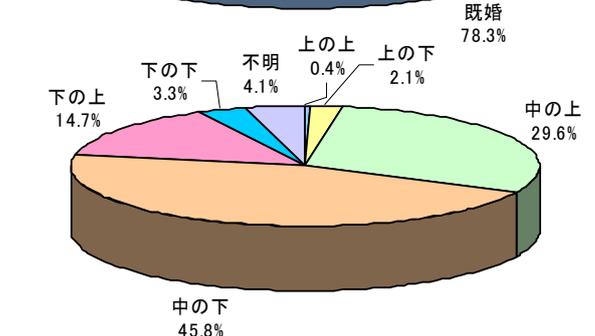
【選挙区】

1区	119	24.6%
2区	99	20.5%
3区	112	23.2%
4区	73	15.1%
5区	80	16.6%



【結婚の有無】

既婚	378	78.3%
未婚	90	18.6%
不明	15	3.1%



【暮らしぶり】

上の上	2	0.4%
上の下	10	2.1%
中の上	143	29.6%
中の下	221	45.8%
下の上	71	14.7%
下の下	16	3.3%
なんともいえない・わからない	0	0.0%
不明	20	4.1%



II 結果の概要

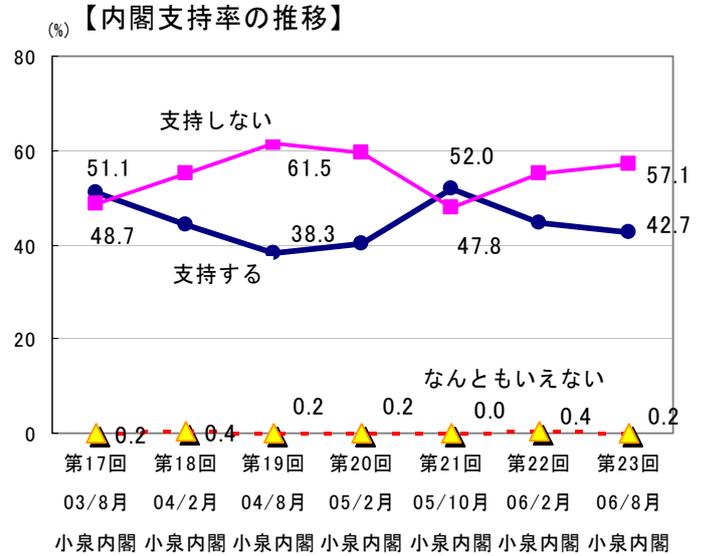
小泉政治5年半の軌跡

内閣の評価

◆支持42.7% 不支持の優位続き14ポイント差

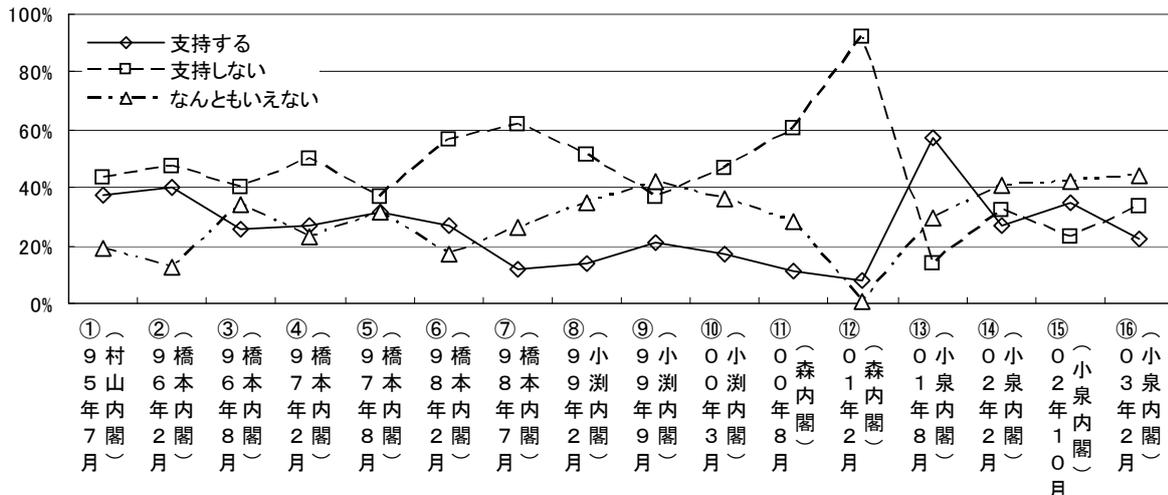
今回が締めくくりとなる小泉内閣に対する評価は、支持が2ポイント余減少の42.7%、不支持は2ポイント余増の57.1%で、その差は14.4ポイントに広がった。

政党支持層でみると、政権与党の自民党で支持が83%の高率で、公明党でも60%を超える。対照的に、民主党では不支持が88%にのぼり、無党派層でも70%を突破し、小泉政治で生じた断裂ぶりが際立つ。



	性別		年代			選挙区					政党支持		
	男性	女性	20代	40代	60代	1区	2区	3区	4区	5区	自民党	民主党	支持政党なし
支持	41.7%	43.6%	34.6%	40.5%	51.4%	46.2%	50.5%	34.8%	45.2%	36.3%	83.3%	11.7%	26.7%
不支持	57.9%	56.4%	65.4%	59.5%	47.3%	53.8%	49.5%	64.3%	54.8%	63.8%	16.7%	88.3%	72.7%

2001年8月の第13回調査からこれまで11回を数える小泉内閣の評価(注)で、最も支持率が高かったのは、01年8月の就任後初めての参院選で自民党が勝利した当時の57.0%。最低だったのは03年2月の統一地方選を控えた時期の22.3%。支持率の平均値は単純計算で41.3%となり、歴代内閣に比べて高くなっている。



(注) 第12回は「なんともいえない」を明示しないで聞いた

(注) 当初の第16回調査までは、選択肢「なんともいえない」を明示して質問した。このため、第17回以降の支持動向とは若干の異同がみられる。

(%)

	村山内閣 95/7月 第1回	橋本内閣 96/2月 第2回	橋本内閣 96/8月 第3回	橋本内閣 97/2月 第4回	橋本内閣 97/8月 第5回	橋本内閣 98/2月 第6回	橋本内閣 98/7月 第7回	小渕内閣 99/2月 第8回
支持する	37.2	40.4	25.7	26.7	31.7	26.7	11.8	14.0
支持しない	43.7	47.4	40.2	50.0	36.9	56.4	61.6	51.2
なんともいえない	19.2	12.2	34.1	23.3	31.5	16.9	26.6	34.8

＜歴代内閣の単純平均支持率＞	
村山内閣	37.2% (調査回数:1回)
橋本内閣	27.2% (6回)
小渕内閣	17.5% (3回)
森内閣	9.6% (2回)
小泉内閣	41.3% (11回)

	小渕内閣 99/9月 第9回	小渕内閣 2000/3月 第10回	森内閣 2000/8月 第11回	森内閣 2001/2月 第12回	小泉内閣 2001/8月 第13回	小泉内閣 2002/2月 第14回	小泉内閣 2002/10月 第15回	小泉内閣 2003/2月 第16回
支持する	21.2	17.4	11.5	7.6	57.0	26.8	34.6	22.3
支持しない	36.9	46.5	60.2	92.0	13.6	32.4	23.1	33.5
なんともいえない	42.0	36.1	28.3	0.4	29.4	40.7	42.3	44.2

(注) 第1回「村山内閣」は「引き続き政権を担当することを支持しますか」と質問した

◆「政治姿勢」の評価が支持・不支持を大きく左右

内閣支持の理由は、「ほかに適当な人がいないから」のトップは変わらないものの、前回よりも10ポイント近く減少。「首相の政治姿勢」が12ポイント余の急伸びをみせて、トップに並び立つ格好になった。3位には「政策に期待」が前回5位から急浮上した。

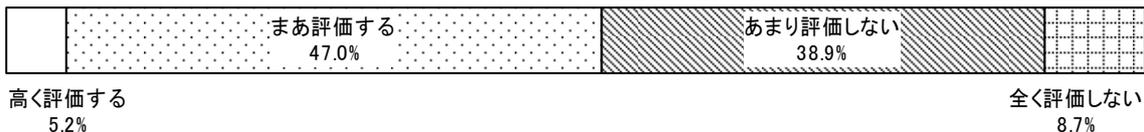
自民党支持層では「政治姿勢」がトップに出たが、民主党では「適当な人がいない」が他を引き離す。無党派層ではその度合いが民主党よりも高くなっている。

不支持の理由では、前回トップの「政策に期待できない」が後退し「首相の政治姿勢」と入れ替わった。3位には「自公連立」が抜け出た。

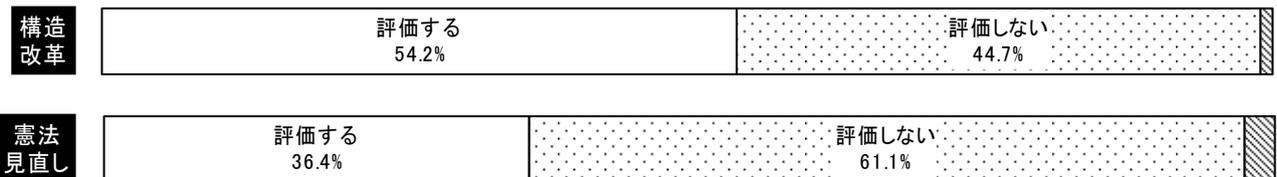
政治姿勢に対する反発が自民党、民主党を問わず高率になっている半面、無党派層では10ポイント以上落ち込む。

政策の評価

◆内政「評価する」半数クリア 改革に54%「イエス」靖国参拝は64%「ノー」



5年半にわたる小泉内閣の内政の成果について「評価する」全体で52%。否定的評価をやや上回った。60代の評価が60%の高さの一方で、50代では「評価せず」が56%と優勢。また、職業層では管理職層で肯定的評価が70%を超え、農林業、事務・技術職、サービス系勤め人で過半数を占めたが、商工自営、無職層では否定的な受けとめが半数を上回った。



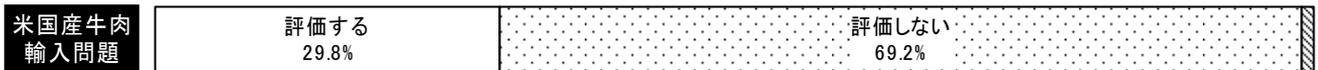
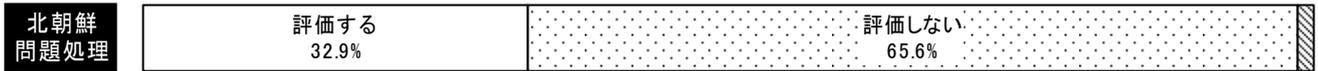
内政の中身では、構造改革について「評価する」が54%と、男女、年代層を越えて肯定的な評価が優勢。しかし、首相の靖国神社参拝には「評価しない」が64%の高率。「憲法見直しの取り組み」にも否定的受けとめが60%を超える。

◆外交「評価せず」多数 北朝鮮対処「ノー」66% イラク派遣も57%



高く評価する
2.3%

外交の成果については「評価する」が36%にとどまり、否定的な受けとめが60%を超えた。肯定的評価で女性が42%とやや高めだが、男性では30%を割り込む厳しさが示された。



外交の中身では、北朝鮮との問題処理で「評価する」が33%。20～30代では肯定的な評価が40%台で高めているが、40～50代では否定的な受けとめが70%を突破する。「自衛隊のイラク派遣」についても「評価する」が41%。自民党支持層では60%台の高さだが、民主党で25%に落ち込み、無党派層でも34%にとどまる。

「米国産牛肉の輸入問題」では否定的な評価が70%に迫る高さ。商工自営、無職層で反発が強く出されている。

政党支持

◆自民32.3%の高水準キープ 民主やや回復19.5%

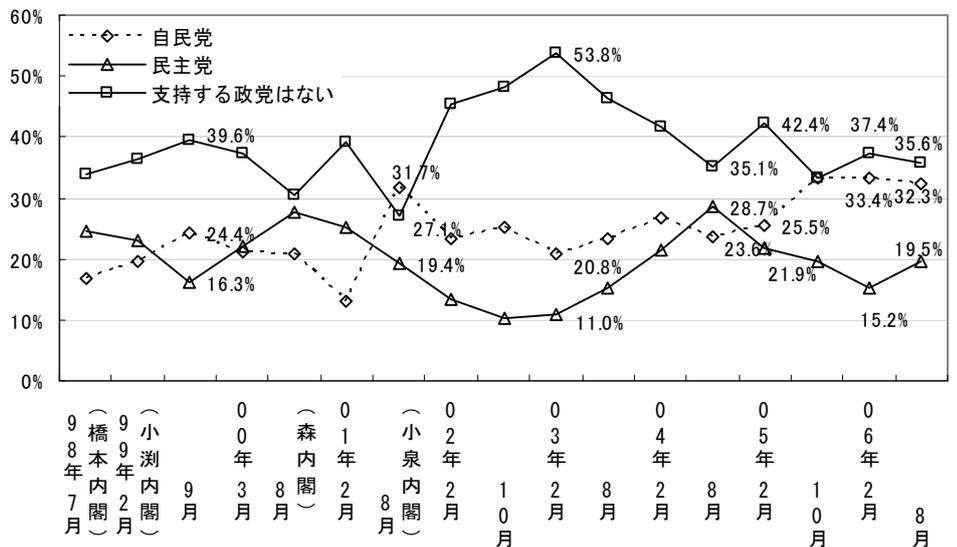
自民党が前回より微減の32.3%、民主党は4ポイント余上がり19.5%。その差は6ポイント余縮まり12.8ポイント。支持政党なしがやや下がり35.6%で、事実上のトップは変わらない。公明党が4.6%で3位を保ち、共産党に社民党が並んだ。

小泉内閣での自民党支持率の最高は06年2月の33.4%。前年の郵政解散一衆院選勝利の勢いを映した。

最低は03年2月のイラク、北朝鮮情勢や改革路線の手詰まり状況の20.8%。

総じて、小泉首相の「自民党を壊す」のスローガンとは裏腹に、内閣支持率と連動する結果になっている。

【政党支持の推移】



	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
	98年7月 (橋本内閣)	99年2月 (小淵内閣)	99年9月 (小淵内閣)	00年3月 (小淵内閣)	00年8月 (森内閣)	01年2月 (森内閣)	01年8月 (小泉内閣)	02年2月 (小泉内閣)	02年10月 (小泉内閣)
自民党	16.7%	19.7%	24.4%	21.0%	20.8%	13.0%	31.7%	23.3%	25.2%
民主党	24.5%	23.0%	16.3%	22.2%	27.7%	25.2%	19.4%	13.3%	10.3%
支持する政党はない	33.9%	36.5%	39.6%	37.3%	30.4%	39.2%	27.1%	45.5%	48.3%

	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
	03年2月 (小泉内閣)	03年8月 (小泉内閣)	04年2月 (小泉内閣)	04年8月 (小泉内閣)	05年2月 (小泉内閣)	05年10月 (小泉内閣)	06年2月 (小泉内閣)	06年8月 (小泉内閣)
	20.8%	23.2%	26.7%	23.6%	25.5%	33.3%	33.4%	32.3%
	11.0%	15.3%	21.5%	28.7%	21.9%	19.7%	15.2%	19.5%
	53.8%	46.2%	41.6%	35.1%	42.4%	33.3%	37.4%	35.6%

◆自民、全選挙区でトップ 女性で自民32%－民主15%

男女ともに自民党支持が30%台で並ぶのと対照的に、民主党は男性23.8%に対して、女性では15.2%に落ち込み落差が著しい。それを映して、女性では支持政党なしが42%の高率を示す。

自民は60代以降で40%台に乗せ、平均値を大きく上回る。50代だけは民主党が27.8%に伸びて唯一自民党を上回る。他方、30～40代で無党派層が半数を占める。

選挙区別では自民党が5つの全区で首位をキープし、2区では民主党に最大の18ポイント余引き離す。

	性別		年代			選挙区				
	男性	女性	20代	40代	60代	1区	2区	3区	4区	5区
自民	32.9%	31.7%	28.8%	23.0%	43.2%	35.3%	37.4%	27.7%	32.9%	27.5%
民主	23.8%	15.2%	7.7%	14.9%	21.6%	20.2%	19.2%	23.2%	20.5%	12.5%
支持政党なし	29.2%	42.0%	46.2%	50.0%	20.3%	33.6%	30.3%	39.3%	34.2%	41.3%

支持する政党を評価し期待するのは、一貫してトップにある「政策の現実性」と2位の「安定感・頼りがい」が上向き「長期的な視点」が続く。「党首の魅力」が大幅に伸びて4位に浮上した。

◆自民・民主競い合う“長野タイプ”が影薄く

自民党の支持率は、01年8月の小泉内閣登場で初めて30%を突破したが、その後は支持政党なしが40%を超える高水準が続き、自民党、民主党は20%を境にして首位を競う長野県独自の状況がみられた。

しかし、直近3回の調査では自民党支持率が30%台の高水準をキープし、無党派層と首位を競い、民主党は低位に引き離されるといった、全国的な流れに沿うかたちに転じている。

Ⅲ 今回のポイント “ポスト小泉”政治の方向

総裁選 3 候補の支持動向と政治選択

◆ 後継争い 安倍氏優位動かず47% 麻生氏18% 谷垣氏12%



自民党総裁選（9月8日告示・20日投開票）に名乗りを挙げた3氏のなかで、安倍晋三官房長官が当初から優位に立ち47%。半年前、まだ去就が定かでなかった福田康夫元官房長官を含む“麻垣康三”を軸とした前回調査の46%の高さをそのままキープしている。他方で、出馬表明の「3人の中にはいない」が20%を超えた。

安倍氏は女性では過半数を占め、男性では麻生氏が20%を超えるとともに“3人以外”が26%に高まる。自民党支持層では安倍氏が70%を突破するが、民主党では安倍氏と麻生氏が伯仲し「3人の中にはいない」が30%と最も高い。無党派層でも「いない」が30%に達し、安倍氏は39%にとどまる。

◆ 首相の資質 「リーダーシップ」安倍氏支持層高め 麻生氏「庶民感覚」



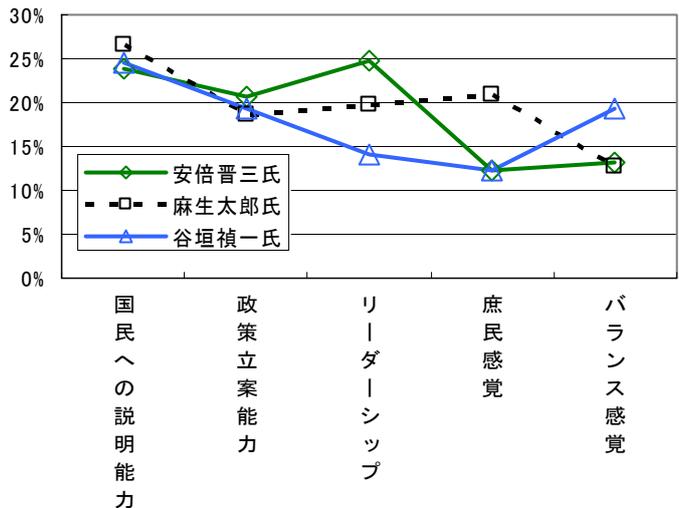
人柄 清潔さ
2.5% 2.1%

首相に望ましい能力、資質は「国民への説明能力」がトップで25%、次いで「政策能力」「リーダーシップ」が拮抗する。

3氏の支持層との絡みでみると「説明能力」で麻生氏が高め。「政策能力」では3氏がほぼ横一線となり「リーダーシップ」で安倍氏が優位にある。

また、全体で4位の「庶民感覚」は麻生氏が引き離し「バランス感覚」では谷垣氏が頭ひとつ抜け出る。

◆ 自民党総裁選 候補別では



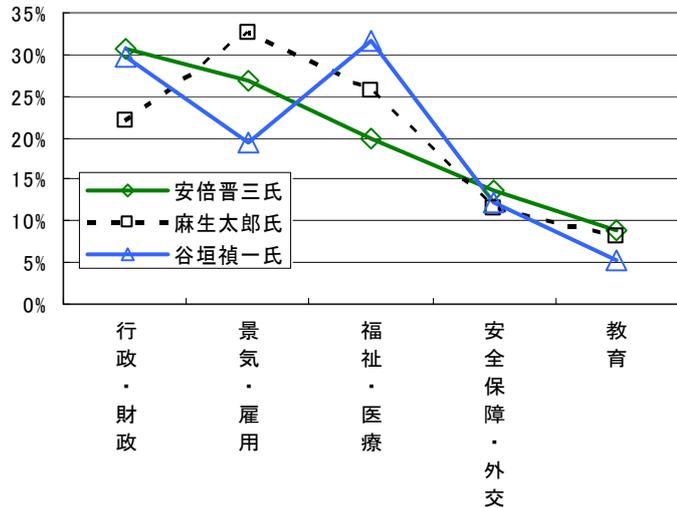
◆ 国政で重視「行財政」に安倍、谷垣氏の支持層 麻生氏は「景気」



国政の課題で重視するのは、前回トップに立った「行政・財政」(27%)はそのまま「景気・雇用」(26%)が盛り返し伯仲状態になった。3位に僅差で「福祉・医療」(24%)が続く。

総裁選の3氏支持層でみると「行政・財政」で本命視される安倍氏と消費税引き上げを明言する谷垣氏が並ぶ。麻生氏は「景気・雇用」で33%の高率がめだち「福祉・医療」では谷垣氏が浮上する。

◆ 自民党総裁選 候補別では



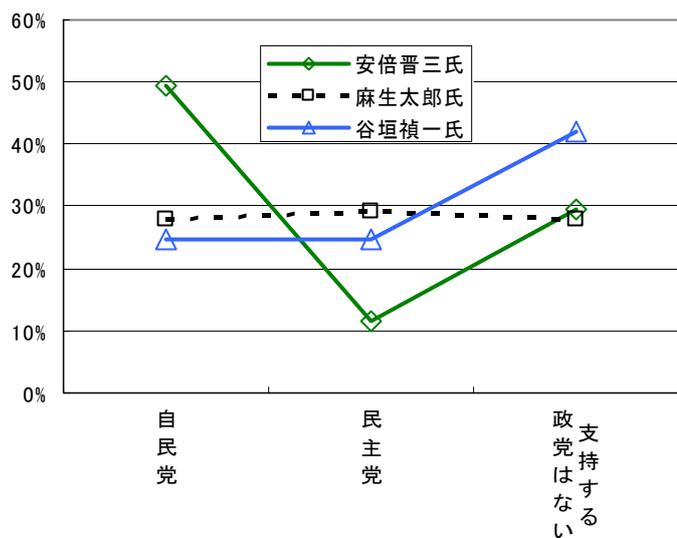
◆ 政党支持は安倍氏「自民」49% 麻生氏「民主」29% 谷垣氏「無党派層」42%



政党支持の全般的状況は、自民党が民主党を10ポイント以上引き離し、支持政党なし層と首位を競う状況がこのところ続いている中で、自民党総裁選3氏の支持層でみると、安倍氏では自民党が約半数を占めるのに対して、麻生氏28%、谷垣氏25%の落差が著しい。

民主党については麻生氏が約30%にのぼり、谷垣氏は自民党と並ぶ。無党派層には谷垣氏が40%を突破し、支持層の独自の傾向が鮮明になっている。

◆ 自民党総裁選 候補別では



◆靖国参拝－安倍氏で賛否伯仲 麻生、谷垣氏は「評価せず」圧倒的

靖国参拝

評価する
35.0%

評価しない
64.0%

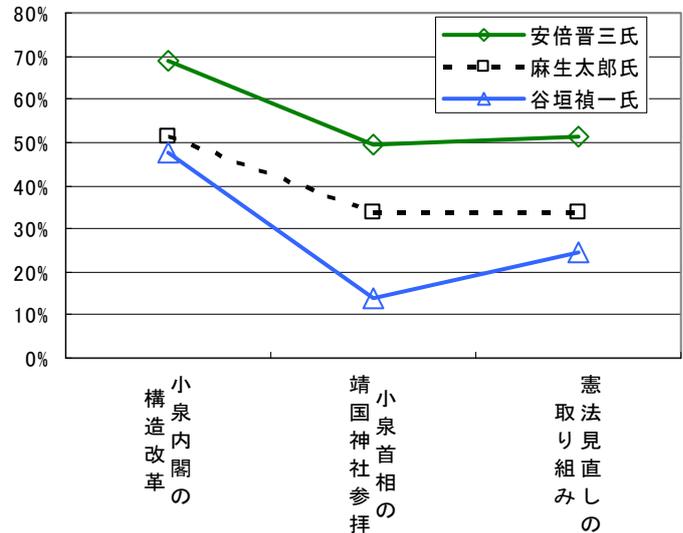
小泉内閣の内政の成果に対する評価で、安倍氏の支持層が70%の高率の一方で、麻生氏では半数に届かず、谷垣氏は37%に落ち込む。

8.15参拝で締めくくり、靖国問題を次の政権担当者に託した小泉首相について、一般的には「評価しない」が64%にのぼる厳しさだったが、後継候補3氏の支持層では、安倍氏で賛否が拮抗。しかし、麻生氏では34%にとどまり、谷垣氏は14%に落ち込む。

こうした評価の違いは、小泉内閣の構造改革でも同様で、安倍氏で70%に迫る高さだが、谷垣氏の支持層では「評価しない」が過半数になる。

憲法見直しのスタンスでも、安倍氏で肯定的評価が半数を超えるが、麻生氏34%、谷垣氏25%と足並みはそろわない。

◆小泉内閣 内政「評価する」～候補別では



◆イラク派遣「評価する」安倍氏のみ半数超 外相の麻生氏61%否定的

自衛隊
イラク派遣

評価する
41.2%

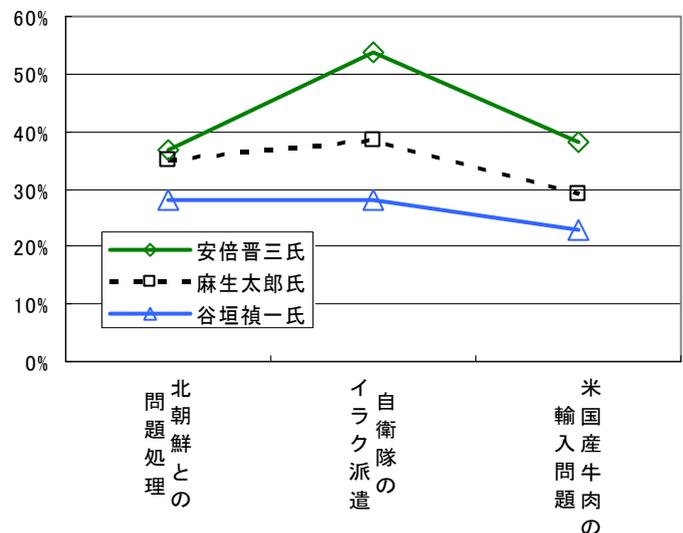
評価しない
57.3%

外交の成果については、全般的に厳しい評価がめだつ中で、安倍氏の支持層のみは肯定的評価が過半数を占めた。しかし、麻生氏では33%、谷垣氏氏は10%台にとどまり濃淡が際立つ。

北朝鮮との問題処理では、3氏の支持層の受けとめの違いはあまり大きくないが、自衛隊のイラク派遣では安倍氏が半数を超えたのに対して、麻生氏が38%、谷垣氏では28%と落差が著しい。

米国産牛肉の輸入問題では、全般的に圧倒的な不評の中で、安倍氏でも60%を超え、谷垣氏では75%が否定的にみている。

◆小泉内閣 外交「評価する」～候補別では



小沢民主党と政治再編成

◆ 小沢代表に「期待する」58% 民主党支持層では90%突破

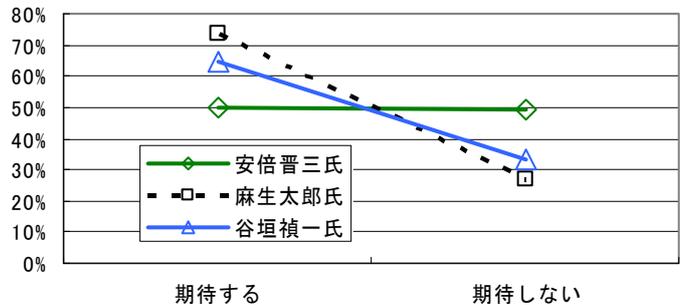


国会質問の偽メール問題をうけ、小沢一郎代表が登場してから半年近く、政権奪取へ攻勢を仕掛ける同党に「期待する」が58%。「期待しない」(41%)を大きく上回る。

民主党の支持層では期待が93%の集中ぶり。無党派層で過半数を占めたが、自民党では逆に「期待しない」が半数を超える。

ポスト小泉争いの3氏の支持層では、安倍氏は拮抗状態にあるのに対して、麻生氏で期待が73%、谷垣氏でも65%にのぼりコントラストがはっきり。

◆ 自民党総裁選 候補別では



◆ 来夏参院選の議席増の期待「民主」41% 「自民」26%



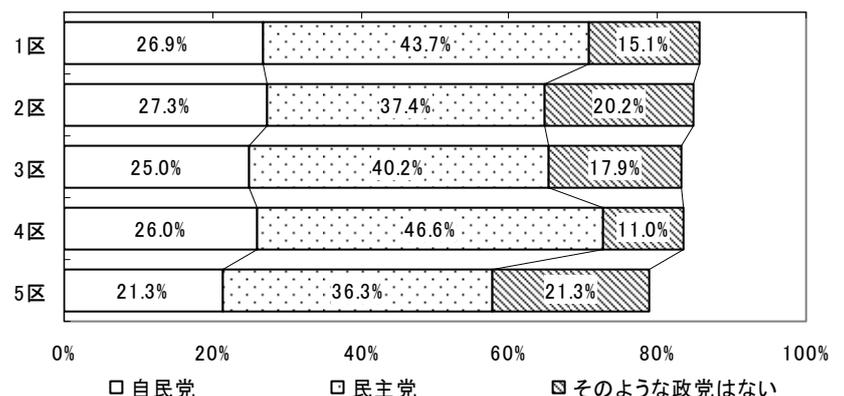
政治・政界の再編成をこんご「期待する」が前回よりも増えて54%。伯仲していた「期待しない」(46%)との開きが8ポイント余に広がった。とくに、男性と60代で期待が60%を超えた。民主党の支持層では「期待する」が70%台に乗せたのに対して、与党の自民、公明党では40%台にとどまる。無党派層は平均値に並ぶ。

こうした再編成への期待感のなかで、来年夏の参院選で議席増を期待するのは「民主党」が41%と最高となり「自民党」は26%にとどまる。大きく水は開くが「社民党」が5%で3位につけ、男性で健闘している。

選挙区別でみると、民主党は4区で47%、1区でも44%と高めになっている。

小泉後継争いの3氏支持層では、民主党について谷垣氏、麻生氏で50%台と高く、安倍氏の30%の低さと対照的。

◆ 選挙区別では



IV 単純集計

問1 あなたは、今の政治に満足していますか

	全体	男性	女性
大いに満足	0.4%	0.4%	0.4%
どちらかといえば満足	22.6%	22.9%	22.2%
どちらかといえば不満足	58.0%	56.7%	59.3%
全く不満足	19.0%	20.0%	18.1%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問2 あなたは、今の国政の課題として、次に挙げた項目の中ではどれがもっとも重要だと思いますか

	全体	男性	女性
行政・財政	27.1%	27.5%	26.7%
景気・雇用	25.7%	28.8%	22.6%
福祉・医療	24.4%	26.3%	22.6%
安全保障・外交	12.4%	10.0%	14.8%
教育	10.1%	7.5%	12.8%
その他	0.2%	0.0%	0.4%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問3 あなたは、小泉内閣を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	42.7%	41.7%	43.6%
支持しない	57.1%	57.9%	56.4%
なんともいえない	0.2%	0.4%	0.0%

問4 支持する理由は何ですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
ほかに適当な人がいないから	46.1%	46.0%	46.2%
首相の政治姿勢が好ましいから	45.1%	49.0%	41.5%
政策に期待できるから	27.7%	28.0%	27.4%
小泉純一郎さんが首相だから	22.3%	22.0%	22.6%
自民党中心の内閣だから	20.9%	21.0%	20.8%
自民党・公明党の連立内閣だから	18.0%	18.0%	17.9%
その他	1.5%	1.0%	1.9%
なんとなく・特に理由はない	0.5%	0.0%	0.9%

問5 支持しない理由は何ですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
首相の政治姿勢が好ましくないから	68.8%	71.2%	66.4%
政策に期待できないから	60.9%	58.3%	63.5%
自民党・公明党の連立内閣だから	19.6%	19.4%	19.7%
自民党中心の内閣	19.2%	18.7%	19.7%

だから

小泉純一郎さんが首相だから	10.1%	12.9%	7.3%
ほかに適当な人がいるから	5.8%	5.8%	5.8%
その他	2.9%	3.6%	2.2%
なんとなく・特に理由はない	0.4%	0.0%	0.7%

問6 あなたは、2001年春以来5年半近くにわたる小泉内閣の内政・外交の成果をどう評価しますか

A 内政の成果

	全体	男性	女性
高く評価する	5.2%	6.7%	3.7%
まあ評価する	47.0%	43.8%	50.2%
あまり評価しない	38.9%	38.3%	39.5%
全く評価しない	8.7%	11.3%	6.2%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%

B 外交の成果

	全体	男性	女性
高く評価する	2.3%	2.9%	1.6%
まあ評価する	33.5%	26.7%	40.3%
あまり評価しない	42.4%	46.3%	38.7%
全く評価しない	21.3%	23.8%	18.9%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.4%	0.4%

問7 あなたは、小泉内閣が進めてきた内政・外交の課題の取り組みについて、どう受けとめていますか

A 小泉内閣の構造改革

	全体	男性	女性
評価する	54.2%	55.4%	53.1%
評価しない	44.7%	44.6%	44.9%
なんともいえない	1.0%	0.0%	2.1%

B 小泉首相の靖国神社参拝

	全体	男性	女性
評価する	35.0%	34.6%	35.4%
評価しない	64.0%	65.4%	62.6%
なんともいえない	1.0%	0.0%	2.1%

C 憲法見直しの取り組み

	全体	男性	女性
評価する	36.4%	35.4%	37.4%
評価しない	61.1%	62.5%	59.7%
なんともいえない	2.5%	2.1%	2.9%

D 北朝鮮との問題処理

	全体	男性	女性
評価する	32.9%	30.4%	35.4%
評価しない	65.6%	68.8%	62.6%
なんともいえない	1.4%	0.8%	2.1%

E 自衛隊のイラク派遣			
	全体	男性	女性
評価する	41.2%	44.2%	38.3%
評価しない	57.3%	55.4%	59.3%
なんともいえない	1.4%	0.4%	2.5%

F 米国産牛肉の輸入問題			
	全体	男性	女性
評価する	29.8%	33.8%	25.9%
評価しない	69.2%	65.8%	72.4%
なんともいえない	1.0%	0.4%	1.6%

問 8 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか

	全体	男性	女性
国民への説明能力	24.8%	25.4%	24.3%
政策立案能力	19.7%	17.9%	21.4%
リーダーシップ	19.3%	18.3%	20.2%
庶民感覚	15.9%	17.1%	14.8%
バランス感覚	14.7%	15.0%	14.4%
人柄	2.5%	2.1%	2.9%
清潔さ	2.1%	2.5%	1.6%
その他	0.4%	0.8%	0.0%
特にない	0.4%	0.4%	0.4%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.4%	0.0%

問 9 小泉首相は自民党総裁としての任期いっぱい（ことし9月）の退任を表明し、後継者として3人が総裁選に名乗りを挙げています。あなたは、だれがふさわしいと思いますか（五十音順）

	全体	男性	女性
安倍晋三氏	47.0%	41.3%	52.7%
麻生太郎氏	17.8%	21.3%	14.4%
谷垣禎一氏	11.8%	10.0%	13.6%
3人の中にはいない	21.5%	26.3%	16.9%
なんともいえない・わからない	1.9%	1.3%	2.5%

問 10 あなたは、どの政党を支持しますか

	全体	男性	女性
自民党	32.3%	32.9%	31.7%
民主党	19.5%	23.8%	15.2%
公明党	4.6%	4.6%	4.5%
共産党	3.1%	2.9%	3.3%
社民党	3.1%	4.6%	1.6%
新党日本	0.8%	0.4%	1.2%
国民新党	0.6%	1.3%	0.0%
その他の政党	0.2%	0.0%	0.4%
支持する政党はない	35.6%	29.2%	42.0%
答えたくない	0.2%	0.4%	0.0%

問 11 支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか（2つ以内）

	全体	男性	女性
政策の実現性	41.9%	39.6%	44.7%
安定感・頼りがい	30.0%	29.6%	30.5%
長期的な視点	27.4%	24.9%	30.5%
党首の魅力	20.0%	23.1%	16.3%
主義主張の一貫性	19.4%	18.3%	20.6%

日本国憲法への姿勢	13.5%	15.4%	11.3%
革新的な姿勢	12.6%	15.4%	9.2%
清潔なイメージ	9.7%	9.5%	9.9%
開かれた党運営	9.4%	8.9%	9.9%
中道的な姿勢	5.8%	5.3%	6.4%
保守的な姿勢	2.3%	1.2%	3.5%
その他	1.0%	1.2%	0.7%
なんとなく	0.3%	0.6%	0.0%

問 12 あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか

	全体	男性	女性
民主党	34.3%	35.7%	33.3%
自民党	14.0%	12.9%	14.7%
共産党	5.2%	4.3%	5.9%
社民党	4.1%	5.7%	2.9%
新党日本	1.7%	1.4%	2.0%
公明党	1.2%	1.4%	1.0%
国民新党	0.6%	0.0%	1.0%
その他の政党	0.0%	0.0%	0.0%
そのような政党はない	38.4%	37.1%	39.2%
答えたくない	0.6%	1.4%	0.0%

問 13 あなたは「支持政党なし（無党派）層」についてどのようにお考えですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
政治・政党への不満、不信の表れ	56.5%	52.9%	60.1%
政治に対して無関心、無責任	38.1%	38.3%	37.9%
政党の努力次第で減っていく	26.5%	27.9%	25.1%
政治家個人中心の選挙が背景にある	15.5%	15.8%	15.2%
自由に1票を行使している	15.1%	16.3%	14.0%
政治を不安定にさせている	11.8%	10.4%	13.2%
棄権が多く投票率を下げの一因	11.0%	11.3%	10.7%
選挙での波乱要素になっている	8.1%	10.0%	6.2%
政治に関心の高い人が多い	7.2%	6.3%	8.2%
その他	1.0%	2.1%	0.0%
なんともいえない・わからない	1.2%	0.4%	2.1%

問 14 あなたは、ことし春に小沢一郎氏が党代表になった民主党に期待しますか、期待しませんか

	全体	男性	女性
期待する	58.4%	61.3%	55.6%
期待しない	41.0%	37.9%	44.0%
なんともいえない・わからない	0.6%	0.8%	0.4%

問 15 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか

	全体	男性	女性
期待する	54.2%	60.8%	47.7%
期待しない	45.5%	39.2%	51.9%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%

問 16 来年夏に参院選が行われます。あなたは、どの政党が議席を伸ばすことを期待しますか

	全体	男性	女性
民主党	40.8%	41.7%	39.9%
自民党	25.5%	26.7%	24.3%
社民党	5.0%	6.7%	3.3%
公明党	4.8%	5.8%	3.7%
共産党	3.7%	3.3%	4.1%
国民新党	1.4%	1.7%	1.2%
新党日本	1.2%	0.8%	1.6%
その他の政党	0.2%	0.0%	0.4%
そのような政党はない	17.2%	13.3%	21.0%
答えたくない	0.2%	0.0%	0.4%

問 17 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか（5つ以内）

	全体	男性	女性
社会保障・福祉の水準低下	50.5%	50.0%	51.0%
高齢化と少子化	49.5%	48.8%	50.2%
ふくれる財政赤字	45.8%	47.5%	44.0%
犯罪の増加	42.2%	35.0%	49.4%
国の安全保障	37.9%	37.1%	38.7%
モラルの低下	37.3%	38.3%	36.2%
景気の方行	33.1%	38.3%	28.0%
青少年の教育・育成	31.7%	25.0%	38.3%
地球環境・自然破壊	29.0%	26.3%	31.7%
官僚依存型の社会の体質	28.8%	27.9%	29.6%
経済の国際競争力の低下	23.6%	28.8%	18.5%
エネルギー不安	22.6%	25.4%	19.8%
雇用の不安	21.5%	22.5%	20.6%
政治の不安定・不信	18.2%	16.3%	20.2%
進まない行政改革	16.6%	19.6%	13.6%
食糧危機	6.6%	6.7%	6.6%
特にない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問8 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか。

- ① 清潔さ
- ② 政策立案能力
- ③ バランス感覚
- ④ リーダーシップ
- ⑤ 庶民感覚
- ⑥ 国民への説明能力
- ⑦ 人柄
- ⑧ その他 ()
- ⑨ 特にない
- ⑩ なんともしえない・わからない

問9 小泉首相は自民党総裁としての任期いっぱい(ことし9月)の退任を表明し、後継者として3人が総裁選に名乗りを挙げています。あなたは、だれがふさわしいと思いますか(表明順)。

- ① 谷垣禎一氏
- ② 麻生太郎氏
- ③ 安倍晋三氏
- ④ 3人の中にはいない
ほかの人では()氏
- ⑤ なんともしえない・わからない

問10 あなたは、どの政党を支持しますか。

- ① 自民党
- ② 民主党
- ③ 公明党
- ④ 共産党
- ⑤ 社民党
- ⑥ 国民新党
- ⑦ 新党日本
- ⑧ その他の政党 ()

- ①～⑧ → 問10、12へ
⑨ 支持する政党はない → 問11、12へ
⑩ 答えたくない

問11 (問10で①～⑧とお答えの方に)

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。
次の中から2つ以内で挙げてください。

- ① 安定感・頼りがい
- ② 主義主張の一貫性
- ③ 政策の現実性
- ④ 保守的な姿勢
- ⑤ 革新的な姿勢
- ⑥ 中道的な姿勢
- ⑦ 党首の魅力
- ⑧ 開かれた党運営
- ⑨ 日本国憲法への姿勢
- ⑩ 清潔なイメージ
- ⑪ 長期的な視点
- ⑫ その他 ()
- ⑬ なんとなく

問12 (問10で「⑨ 支持する政党はない」とお答えの方に)

あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか。

- ① 自民党
- ② 民主党
- ③ 公明党
- ④ 共産党
- ⑤ 社民党
- ⑥ 国民新党
- ⑦ 新党日本
- ⑧ その他の政党 ()
- ⑨ そのような政党はない
- ⑩ 答えたくない

(全員の方に)

問13 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。

次の中から2つ以内で挙げてください。

- ① 政治を不安定にさせている
- ② 自由に1票を行使している
- ③ 政治に対して無関心、無責任
- ④ 政治に関心の高い人が多い
- ⑤ 政治・政党への不満、不信の表れ
- ⑥ 選挙での波乱要素になっている
- ⑦ 政党の努力しだいで減っていく
- ⑧ 政治家個人中心の選挙が背景にある
- ⑨ 棄権が多く投票率を下げる一因
- ⑩ その他 ()
- ⑪ なんともしえない・わからない

問14 あなたは、ことし春に小沢一郎氏が党代表になった民主党に期待しますか、期待しませんか。

- ① 期待する
- ② 期待しない
- ③ なんともしえない・わからない

問 15 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。
① 期待する ② 期待しない ③ なんともいえない・わからない

問 16 来年夏に参院選が行われます。あなたは、どの政党が議席を伸ばすことを期待しますか。

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| ① 自民党 | ④ 共産党 | ⑦ 新党日本 |
| ② 民主党 | ⑤ 社民党 | ⑧ その他の政党 () |
| ③ 公明党 | ⑥ 国民新党 | ⑨ そのような政党はない |
| | | ⑩ 答えたくない |

問 17 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内でお答えください。

- | | |
|----------------|--------------|
| ① 経済の国際競争力の低下 | ⑨ 景気の行方 |
| ② 国の安全保障 | ⑩ エネルギー不安 |
| ③ 社会保障・福祉の水準低下 | ⑪ 青少年の教育・育成 |
| ④ 政治の不安定・不信 | ⑫ 高齢化と少子化 |
| ⑤ ふくれる財政赤字 | ⑬ 地球環境・自然破壊 |
| ⑥ 進まない行政改革 | ⑭ モラルの低下 |
| ⑦ 官僚依存型の社会の体質 | ⑮ 食糧危機 |
| ⑧ 雇用の不安 | ⑯ 犯罪の増加 |
| | ⑰ 特にない・わからない |

問 18 あなたが日ごろ、政治、経済、社会の動きについて思っていることを書いてください。

<性別> ① 男性 ② 女性

<年代> ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
(※年代と合わせて、選択肢番号を付けておきます)

<職業> ① 農・林・漁業 ⑥ 商工・自営業
② 事務・技術系の勤め ⑦ 主婦
③ 現業系の勤め ⑧ 無職
④ サービス系の勤め ⑨ その他(具体的に)
⑤ 役員・管理職・自由業

<地域> ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

<選挙区> ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

<結婚> ① 既婚 ② 未婚

<暮らしぶり> ① 上の上
② 上の下
③ 中の上
④ 中の下
⑤ 下の上
⑥ 下の下
⑦ なんともいえない・わからない